

活動報告書

番号

21

【団体の概要】

事業名： 匠にまなぶ高知の森・木工ワークショップ/大月町

団体名： 高知工科大学 Wavert

【活動の概要】

過疎化集落(人口10名程度)の住民等が憩う場づくりを行うため、大工や建築家からレクチャーしてもらしながら木工製作を行うワークショップを開催する。

木工ワークショップ①テーブル2台、ベンチ2台、ひじ掛けチェア2脚の制作

木工ワークショップ②建具の製作(現地集落の交流拠点となる古民家の出入り口扉の制作)

製作した木工品は集落の古民家に設置し、地域住民やお遍路さんらの休憩所として利用してもらう。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月30日(土)

場所： 安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961)

日程：

木工ワークショップ①1日目

13時～18時：家具の部材加工作業

・ノコ・槌・かんな・ノミ・やすり等を使い、「ほぞ」および「ほぞ穴」づくり

募集地区： 高知県内 募集対象： 建築系の大学生や高校生

募集方法： 口コミ(コロナ禍により告知縮小) 参加費等： なし

参加人数： 大人 3名 子供 5名
スタッフ 3名 外部講師 2名

実施年月日： 令和3年10月31日(日)

場所： 大月町赤泊地区

日程：

木工ワークショップ②2日目

8時～16時：家具部材の組み立て作業および設置

・家具パーツの微修正作業

・組立て、配置

募集地区： 高知県内 募集対象： 建築系の大学生や高校生

募集方法： 口コミ(コロナ禍により告知縮小) 参加費等： なし

参加人数： 大人 4名 子供 5名
スタッフ 3名 外部講師 2名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

高知放送「おはよう高知」取材

○感想

〈参加者〉

・木という自然素材に触れ、微妙な加工の調整など職人技の面白さや奥深さに触れられて楽しかった。

・大学では学べないことを職人さんや建築家さんから教わる、意義深い機会になった。

〈スタッフ〉

・学生たちが知らない世界(木の性質・加工技術・設計方法等)を、直に学び積極的に関われる機会にするため、講師との綿密な打ち合わせを経て開催し、良い機会となつた。

実施年月日:	令和3年12月25日(土)		
場 所:	安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961)および大月町赤泊地区		
日 程:			
木工ワークショップ②			
10時～14時:建具部材の加工および組み立て作業／安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961)			
・扉の木材パーツの製作			
・ガラスの寸法合わせ			
・金具の取り付け			
15時～17時:建具の取り付け作業／(大月町赤泊地区)			
募集地区:	高知県内	募集対象:	建築系の大学生や高校生
募集方法:	口コミ(コロナ禍により告知縮小)	参加費等:	なし
参加人数: 大人	1名	子供	5名
スタッフ	1名	外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
	高知新聞取材		
○感想			
〈参加者〉			
・記念品のようなモノづくりではなく、実際の建物に設置する建具づくりに関わることができてよかったです。			
・過疎集落にある建物に建具(扉)が入ったことで、地域の活性化に少し貢献できるような気がした。			
〈スタッフ〉			
・ワークショップ開催を通じ、職人・建築家の技術をまなぶ機会になったこと、参加者に集落現状の一端を伝えられたことが大きな成果になった。			